

スローDX成功法 / 導入した施設の声

訪問介護ようき（沖縄県・南城市／有限会社陽気・訪問介護・訪問看護）

訪問介護と訪問看護を一体で — 医療ニーズの高い方も、住み慣れた地域で

沖縄県南城市で「ホームいこい」「デイサービスはいさい」「訪問看護ようき」「訪問介護ようき」を運営する有限会社陽気（陽気グループ）。同グループは、自社施設のご利用者様に対して訪問介護・訪問看護を一体的に提供し、**医療ニーズの高い方も、住み慣れた地域で安心して暮らせる体制**を築いています。

排泄記録のデジタル化から始まったスローDXは、いまや訪問介護・訪問看護の現場の隅々にまで広がっています。記録AI「神マナ」をどう活かしているのか——代表・嶺井美幸氏に語っていただきました。

有限会社陽気（陽気グループ）
訪問介護ようき

代表 嶺井 美幸

直接打ち込むのが難しい現場だからこそ、「音声」で記録する。

訪問介護の現場では、その場で文字を打ち込むのは簡単ではありません。だからこそ私たちは、神マナを使って業務そのものを効率化しています。

- ・スケジュールの割り当て管理
- ・訪問介護記録の音声入力
- ・音声入力したデータを、カイポケへ自動転送

直接打ち込むのが難しい場面でも、音声で記録できる。これによって、**入力負担を大幅に圧縮**できています。

施設記録のデータを、訪問介護にもそのまま活かす。

私たちは、自社施設のご利用者様に対して訪問介護を行っています。だからこそ、**施設記録で入力したデータを、訪問介護でも有効に活用**できるのです。

たとえば、1日に3回バイタルを測定する場合。その記録データをそのまま活かしたり、単なる「訪問時のデータ」としてだけでなく、**ご利用様が過ごした1日の流れの中での状態観察・記録として蓄積**しています。

点としての記録ではなく、1日の「線」として状態を見られる。施設と在宅の記録がつながることで、ケアの解像度が一段と上がりました。

訪問看護はSOAPで。看護・医療と一体のケアへ。

記録のまとめ方に関しても、AIを活用しています。**訪問看護であれば、SOAP形式で作成**しています。

私たちの施設では訪問看護も同じご利用者様に提供しているため、**医療ニーズの高いご利用者様に対しても、安定したケアと看護・医療を一体的に提供**できている状況です。

ナースと介護職が、同じ目線で。多職種連携とスキルアップ。

訪問看護と訪問介護を組み合わせることで生まれた、具体的なメリットがあります。

- ・ナースと介護職の密接な連携が図れている
- ・一般的な介護職であっても、ナースと同等の知識を共有し、留意点などを正しく理解できている
- ・プロ意識が高まり、情報を適切に扱うことでケア全体の質が向上している

病院へ行かずとも、住み慣れた地域で。ご利用者様へのメリット。

- ・質の高い医療的ケアを、日常的に受けられる
- ・病院へ行かずとも、住み慣れた地域でプロによる適切な処置が完結する

地域における多様なニーズを持つ方々を、問題なく受け入れられる体制が整っています。今後もこれらをさらに活用し、さらなる成長を目指していきたいと考えています。

訪問介護と訪問看護を組み合わせることで、 医療ニーズの高い要介護者にも対応できる。

代表自らがAIを使いこなす。排泄記録から、経営判断まで。

法人の代表である私（嶺井美幸）は、**自らClaudeを用いたアプリケーションを開発**したり、神マナ内にあるデータを活用して独自のダッシュボードを作成したりしています。

1～2年前とは比べものにならないほどの進化を遂げています。**排泄記録の自動化から始まった取り組みが、今やあらゆる記録を誰もが簡単に行えるまでになりました。**

これにより「誰が、いつ、どこで、何をしていたか」が明確になり、訪問看護や訪問介護の現場だけでなく、法改正への対応、BPOの推進、補助金の申請や書類作成といった多岐にわたる業務で、**AIをフル活用した事業展開**を行っています。

記録の蓄積が、次の一手を支える。今後の展望。

① 事業規模の拡大

12月には着工中の新しい有料老人ホームが完成予定であり、新たに38床が増えることになります。こうした拡大が実現できるのも、安定した記録の蓄積があり、それに基づいた的確な経営判断ができるからこそです。

② 基盤の強化

職員の育成を含め、あらゆる面において、一つひとつの記録が現在の経営基盤となっていることを実感しています。

③ 3つの指針の推進

(a) 利用者本位 (b) 職員本位（職員が働きやすい環境） (c) 環境整備

これら3つの指針に向かって、今後も取り組みを加速させていきたいと考えています。

一つひとつの記録が、経営の基盤になる。 利用者本位・職員本位・環境整備へ。

